

・扶養親族届（60歳以上の親認定）【記入例】

第1号様式

扶養親族届

受領



令和〇〇年 1月15日提出

任命権者 福島県教育委員会様	勤務公署名 〇〇〇学校	職名 〇〇	氏名 〇〇 〇〇
-------------------	----------------	----------	-------------

職員との給与に関する条例第9条第1項の規定に基づき、次のとおり届け出ます。

- 届出の理由
- 1 新たに職員となった
 - 2 新たに扶養親族たる要件を具備するに至った者がある
 - 3 扶養親族たる要件を欠くに至った者がある（子、孫及び弟妹で22歳の年度末を超えた者を除く）
 - 4 その他（扶養替え、他の給与条例等適用職員の扶養親族が異動（22歳年度末による要件喪失の場合を除く）したことによる手当額の改定）

区分	ふりがな 扶養親族の氏名	続柄	生年月日	同居別居の別	職業	年(月)収		異動年月日	届出の内容
						種類	金額		
今回届出者	〇〇 〇〇	母	SOO.1.14	同居	農業	農業所得	280,000	ROO. 1. 14	満60歳
既認定者	〇〇 〇〇	子	HOO. 〇.〇	同居	なし	-	0	前月の手当額	20,000円
	〇〇 〇〇	子	HOO. 〇.〇	同居	なし	-	0		

遡及して入力する場合は記入する

配偶者が給与条例適用職員の場合は、扶養親族の認定状況を記入する

配偶者(給与条例等適用職員)の扶養親族認定状況				
配偶者氏名	〇〇 〇〇	配偶者勤務公署名	〇〇立△△△学校	
扶養親族の氏名	職員の続柄	生年月日	職員との同居別居の別	担当者確認欄
				配偶者の扶養手当 配偶者 配偶者(8級以上) 子 父母等 父母等(8級以上) 加算対象者数
扶養手当の月額		合計	円	

上記のとおり認定してよろしいか伺います。			
決定権者		起案者	
起案	RO・1・23	決裁	RO・1・23

令和〇〇年 2月(例月)・期末 入力	※「給与マスター基本(修正)通知7」により電算入力すること。
世帯区分の変更の有無	有 無
	※変更がある場合には、「給与マスター基本(修正)通知書9」により電算入力すること。

11/1~3/1に世帯区分に変更がある場合には「有」に○を付す

所属コード	職員番号	※認定事項(電算入力事項)		届出事実発生年月日	届出年月日
		扶養手当	「自」年月		
		配偶者 配偶者 子 父母等 加算対象者	年 月	年 月	円
7 8 9 0 1 1 2 3 4 5 6 0 0 2 1 0 0			26,500	RO. 1. 14	RO. 1. 15
				届出受理発生年月日	支給開始(改定)年月日
				RO. 1. 15	RO. 2. 1

◎太枠内の各欄は届出者が記入すること。(裏面「記入上の注意」等を参照のこと。)

・ 扶養手当に関する申立書（60歳以上の親認定）【記入例】

第3号様式

令和〇〇年1月15日

扶養に関する申立書

所属名	〇〇立△△学校	職名	〇〇	氏名	〇〇〇〇
-----	---------	----	----	----	------

今回届出の被扶養者（続柄 実母 氏名 〇〇〇〇）を私が扶養しなければならない理由は下記のとおりであることを申し立てます。

(1) 扶養しなければならない理由、扶養の実態（*詳細に記入すること）
 母 郡山花子 は令和〇〇年1月14日で満60歳になり、父が営んでいる農業を手伝っており、その従事は40%程度で、年所得額は28万円です。私の実家は、妻、父母、子2人の6人であり、同居し生計を営んでいます。私たち一家の所得は、昨年私が542万円、妻が320万円、父が140万円、母が28万円であり、一家の生計を維持してあります。私には弟妹がおりますが、下記のとおり別居しそれぞれ生計を営んでおり、母に対する扶養手当等の支給は受けておりません。以上の状況から、私が主として母を扶養していることを申し立てます。

(2) 他の扶養義務者の状況（注1）

続柄	氏名	年齢	同居別居の別	職業	住所	扶養の有無
父	〇〇〇〇	62	同居	農業	郡山市〇〇〇1丁目	無
二男	〇〇〇〇	37	別居	会社員	福島市〇〇〇2丁目	無
長女	〇〇〇〇	35	別居	主婦	二本松市〇〇〇3丁目	無

(3) 被扶養者の職歴等（注2）

	今回届出の被扶養者	左の配偶者（氏名 郡山五郎）
職業、勤務箇所 （就業していた期間）	① 農業 （SOO・4・1～現在）	① 農業 （SOO・4・1～現在）
	② （ . . . ~ . . . ）	② （ . . . ~ . . . ）
雇用保険の給付の有無 （支給開始年月日、日額）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 （ . . . から 円）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 （ . . . から 円）
恩給、年金等の額	0 円	700,000 円
事業収入、その他の所得金額	280,000 円	700,000 円

注1 (2)の「他の扶養義務者」とは、被扶養者に対して扶養義務を負う職員以外の者をいう。

- ① 子……………職員の配偶者
- ② 父母……………被扶養者の配偶者及び職員の兄弟姉妹
- ③ 祖父母……………被扶養者の配偶者、被扶養者の子及び職員の兄弟姉妹
- ④ 弟妹、孫、重度心身障害者……………被扶養者の父母及び被扶養者の兄弟姉妹

「扶養の有無」について、「有」の場合には、送金額も記入すること。

2 (3)の「職業、勤務箇所」については、最終の勤務について記入すること。
 ただし、過去1年以内に複数の会社等に勤務していた場合については、それぞれの期間について記入すること。（無職の場合には「無職」と記入すること。）

・ 扶養手当に関する証明願（60歳以上の親認定）【記入例】

※ 他の扶養義務者が就業している場合に添付する。60歳以上の父母を認定するときは、①被扶養者の配偶者②職員の兄弟姉妹の勤務先から取得する。

第5号様式

扶養手当に関する証明願

〇〇〇〇△△△△会社 社長 様	申 請 人	住 所	郡山市〇〇〇1丁目1番地
		氏 名	〇〇 〇〇 

下記の者は、私の扶養親族として認定されていないこと及びこの者に係る扶養手当（これに相当する家族手当等を含む。）を受給していないことを証明願います。

（ 氏 名 ） 〇〇 〇〇

（ 生 年 月 日 ） 昭和〇〇年 1月14日

（申請人との続柄） 母

上記のとおり相違ないことを証明する

令和〇〇年1月9日

住 所 郡山市〇〇〇2丁目2番地

事業所名 〇〇〇〇△△△△会社

社長 〇 〇 〇 〇



・扶養親族認定台帳（表面） 60歳以上の親認定【記入例】

第2号様式

扶 養 親 族 認 定 台 帳

所属を異動したときに記入

(平成 〇〇 年 5 月 28 日作成)

所属所名	〇〇小学校	□□小学校	△△小学校				
異動年月日	〇〇・4・1	〇〇・4・1	〇〇・4・1	・	・	・	・

氏 名	〇〇 〇〇
職員番号	〇 〇 〇 〇 〇 〇

氏 名	続 柄	生 年 月 日 (加算開始時期)	増 員				減 員				手 当 支 給 の 終 期 (22歳年度末)		
			届 出 事 由	届 出 事 実 の 発 生 年 月 日	届 出 年 月 日	受 理 年 月 日	手 当 支 給 の 始 期	届 出 事 由	届 出 事 実 の 発 生 年 月 日	届 出 年 月 日		受 理 年 月 日	
〇〇 〇〇	配偶者	S〇〇・4・10	育休	〇・7・14	〇・7・17	〇・7・17	〇 年 8 月 分	復職	〇・4・1	〇・4・1	〇・4・1	〇 年 3 月 分～	
			育休 (手当金所得限度)	〇・8・1	〇・8・2	〇・8・2	〇 年 8 月 分	復職	〇・8・1	〇・8・2	〇・8・2	〇 年 7 月 分～	
													年 月 分～
													年 月 分～
〇〇 〇〇	子	H〇・5・19 (平成〇 年4月)	出生	H〇・5・19	H〇・5・28	H〇・5・28	〇 年 6 月 分～				年 月 分～ (平成〇 年3月)		
〇〇 〇〇〇	子	H〇・8・27 (平成〇 年4月)	出生	H〇・8・22	H〇・8・30	H〇・8・30	〇 年 9 月 分～				年 月 分～ (平成〇 年3月)		
〇〇 〇〇	母	S〇〇・1・14 (年4月)	満60歳	RO・1・14	RO・1・15	RO・1・16	〇 年 2 月 分～				年 月 分～ (年3月)		
		(年4月)					年 月 分～				年 月 分～ (年3月)		
		(年4月)					年 月 分～				年 月 分～ (年3月)		
		(年4月)					年 月 分～				年 月 分～ (年3月)		
		(年4月)					年 月 分～				年 月 分～ (年3月)		
		(年4月)					年 月 分～				年 月 分～ (年3月)		
		(年4月)					年 月 分～				年 月 分～ (年3月)		

資料1『扶養手当特定期間加算時期一覧』を参照

減認定の場合二重線を付し、他の認定されている者と区別する

資料1『扶養手当特定期間加算時期一覧表』を参照

〈記入上の注意〉

- 「生年月日(加算開始時期)」欄には、加算措置の対象となる子について、加算開始の時期を()内に記入する。
- 「届出年月日」欄には、届出提出日を記入する。
- 「受理年月日」欄には、届出に必要なすべての添付書類を受け取った日を記入する。
- 「手当支給の終期(22歳年度末)」欄の()内には、子・孫・弟妹が22歳年度末により支給要件を喪失する時期を記入する。
- 子・孫・弟妹が22歳年度末により支給要件を喪失した場合は、「届出年月日」及び「受理年月日」欄の記入は要しない。なお、「届出事由」欄には、「22歳年度末」と記入する。

・扶養親族認定台帳（裏面） 60歳以上の親認定【記入例】

（※ 他の扶養義務者が就業している場合に添付する。60歳以上の父母を認定するときは、①被扶養者の配偶者②職員の兄弟姉妹の勤務先から取得する。）

台帳作成時の配偶者の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	配偶者が給与条例等適用職員かどうか	<input checked="" type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 非該当
配偶者の有無の異動(配偶者以外の扶養親族を有する場合に記入する。)					
配偶者の無い職員となった			配偶者の有する職員となった		
届出事実の発生日			届出事実の発生日		
届出年月日			届出年月日		
受理年月日			受理年月日		

3 扶養手当の月額状況(支給額の改定)

手当額の異動事由及び支給開始、改訂又は終了年月日	出生	育休	復職	出生	育休	給与改定	復職	給与改定	満60歳		
	HO・6・1	HO・8・1	HO・4・1	HO・9・1	HO・8・1	HO・12・1	HO・8・1	HO・4・1	RO・2・1		
配偶者	<input type="checkbox"/> 有・扶養 <input checked="" type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・扶養 <input type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有・扶養 <input checked="" type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有・扶養 <input checked="" type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・扶養 <input type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・扶養 <input type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有・扶養 <input checked="" type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有・扶養 <input checked="" type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有・扶養 <input type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有・扶養 <input type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有・扶養 <input type="checkbox"/> 有・非扶養 <input type="checkbox"/> 無
子 ()	1人	1人	1人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	人	人
その他	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
加算措置の対象となる子 ()	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
扶養手当の額	6,500 円	22,000 円	6,500 円	12,500 円	25,500 円	15,000 円	12,500 円	13,000 円	給与等領収書により給与支給定日以降に確認した日		
確認年月日	HO・6・2	HO・8・7	HO・4・6	HO・9・21	HO・8・19	HO・12・21	HO・8・21	HO・3・25	RO・2・21	・	・
—										認定権者の印	

〈記入上の注意〉

- (1) 「配偶者」欄には、配偶者の有無及び配偶者有りの場合における扶養認定の状況について、該当する□にレ印を付ける。
- (2) 「子()」欄及び「加算措置の対象となる子()」欄の()内には、配偶者側に認定されている子の数を記入する。

